

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス コンパス金沢文庫第2教室

対象人数（保護者）27人 回答者数 21人 回収 77.8%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	7	1	室内が狭いと感じる
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	7		国が定めたルールの中で一生懸命してくださっていると感謝しています。コンパスさんそのものではなく、国のルールに不満があるので「どちらともいえない」としました、すみません。
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	5		バリアフリーがあるようで無いと感じる
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	2		
適切な 支援の提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	4		入所したばかりなのでまだ分かりません。子どものことをよくわかってくださって、支援いただいております。いつもありがとうございます。
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	4		
	⑦ こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	2		事前の聞き取りや計画書について、面談で丁寧なヒアリングとご説明がありました。細かなニーズを捉えて、わかりやすい形で計画に落とし込んでくださっています。
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1	1	入所したばかりなのでまだ分かりません。国が定めたルールの中で一生懸命してくださっていると感謝しています。コンパスさんそのものではなく、国のルールに不満があるので「どちらともいえない」としました、すみません。
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	4	1	以前の方が活動内容が毎日違い良かったと思う
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	11	7	不要です 入所したばかりなのでまだ分かりません。
保護者 への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21			面談で、丁寧なヒアリングと説明がありました。
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1		
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	8	4	入所したばかりなのでまだ分かりません。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	3		アプリや送迎時など、気軽に相談しやすい雰囲気と体制が整っていてありがたいです。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	4		入所したばかりなのでまだ分かりません。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	2		
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けら	6	11	4	きょうだいへの支援は個別にはあるかと思いますが、交流の機会はありません。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
	れるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				が、特に必要性を感じていません。入所したばかりなのでまだ分かりません。
	㊸ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3		
	㊹ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1		
	㊺ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	4		
	㊻ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	2		
非常時等の対応	㊼ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	7		
	㊽ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1		
	㊾ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	4		
	㊿ 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3		
満足度	㊽① こどもは安心感をもって通所していますか。	21			
	㊽② こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	3		デイの日をととても楽しみにしています。子どもはコンパスが大好きです。
	㊽③ 事業所の支援に満足していますか。	18	3		国が定めたルールの中で一生懸命してくださっていると感謝しています。コンパスさんそのものではなく、国のルールに不満があるので「どちらともいえない」としました、すみません。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスコンパス金沢文庫第2教室		年 月 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	・なるべく発達支援等のスペースに物を置かないようにし、スペース確保、配置を定期的に見直している	・「静」「動」の境界線が曖昧、パーテーション等で仕切れると良い
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	90%	10%	・事前に、職員配置の打ち合わせを共有出来ている ・全体・配置の意識をしている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	・玩具の棚や箱に、視覚化された情報を提示している(鉛筆・ぬいぐるみ等) ・手洗い場の高さがあっていないため、足場の台を置いた	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	90%	10%	・6S活動や1か月ごとに、環境整備を実施。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・必要に応じて児童が利用できる様、個別の部屋がある ・体調不良の児童のために静養室は空けている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・KPIシート使い、毎日実施している ・利用児童の共有の時間、支援内容についての時間と項目を分けている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・モニタリング時に実施	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・職員用の連絡ノートを活用している	・月1で職員全体MTを実施、認識の確認を行う必要がある
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	30%	70%		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・プロジェクトを通して実施している	
適切な 支援の 提...	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・HPで公表されている	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・アセスメントシートの改訂を行い、新たなアセスメントシートを用いてアセスメントを実施している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		・作成前に確認を行えると更によい
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・計画書のポイントを分かりやすく提示している	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	90%	10%		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・ガイドラインの研修を実施。5領域について考える機会を提供している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・週ごとに案を持ち寄り、作成している ・利用児童からアンケートを取り反映させている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・一週間同じテーマで実施をしているが、毎日異なった内容にしている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・専門的支援を実施しているため、個別活動の時間が設けられている ・集団活動の時間に個別対応が必要と見立てがある場合は、事前に担当職員を決めている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・役割分担を明確にしている	・連携が取れておらず、職員が固まった配置になる場面がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・HUGの機能、提供記録を毎日記載している ・KPTシートや、利用児童の共有ノートを使い記録を残している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・利用児童が1日のスケジュール決めたり、おやつの有無を決めたり選択出来る支援にしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	40%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・関係連携会議の実施をおこなっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	20%	80%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	30%	70%	・同法人内の放課後等デイの教室と関わりを持つ機会を設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	80%	20%	・放デイの事業所が近隣にあるため、どちらかの教室が参加し、情報の共有を行うなどなるべく参加するように環境を作っている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・利用児童のことが記載されているノートがあるため、共有は出来ている	・非常勤職員と常勤職員との間で共通理解とまでは、至っていないため時間を設ける必要がある
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%		・ペアレントトレーニング実施に向け職員の養成を行う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・保護者のかたに説明するにあたり、重要な部分、どのように伝えるかあらかじめ話し合ってから説明するように準備をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	90%	10%	・モニタリングの際に、児童との面談を行うようにしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・必要に応じて、来所して頂くことや、場面に応じてHUGや電話で助言を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	30%	70%	・定期的に保護者会を実施している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・即日、または翌日までに迅速に対応するように努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・SNSは、週2回の投稿を実施	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・送迎表は、紛失のリスクを考え伏字にしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・OやXの意思表示カードを使用し、その児童に合わせた予定表を作成し、理解しやすい言葉を使用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	40%	60%	・同法人内ではあるが、年に回数を決めて交流を実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・マニュアルは、プロジェクトを中心に毎年アップデートされている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・実動訓練を行うことで、自分が何の役割なのかを等確認をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・てんかんのフローを作成し、職員間で研修実施。 ・ロールプレイも行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	90%	10%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・安全管理委員会が設けられ、必要な項目を実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・リスクマネジメント委員会を通じて、全教室のヒヤリハットが共有される ・事業所でも同様に実施している	・ヒヤリハット集を作成する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・法定内研修の他に、月1虐待に関する振り返りを行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・保護者に同意書も記載して頂いている		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス コンパス金沢文庫第2教室		
○保護者評価実施期間	R7年5月1日		~ R7年5月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	R7年5月1日		~ R7年5月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年5月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・「適切な支援の提供」の項目⑤~⑩に対し、保護者・従事者とも概ね「はい」の回答が多かった。特に個別支援計画書に沿った支援に対しては、保護者・従事者とも同じ認識があり強みといえる。	・子供の共有の際に、支援のばらつきが出ないように方向性を確認し実施している。 ・活動表作成に辺り、従事者だけの考えに偏らないように利用児童からもアンケートや感想、やりたい活動を聞き取り入れている。	・保護者・利用児童・従事者の3方向からの視点を大切に支援に取り入れていく。
2	・「保護者への説明等」の項目⑭⑮に対し、「はい」の回答が多かった。説明が、丁寧な説明がされていると保護者・従事者ともに認識があり強みといえる。	・書類等、保護者に配布と記載して頂くものに関しては配布前に伝える内容を確認してから渡すことを徹底している。 ・保護者に直接書類がお渡しが出来ない際は、電話やHUGのツール、付箋での視覚化も行い保護者が分かりやすいようにしている。	・同法人内、放課後等デイサービス全体の情報の変更がある場合は、余裕をもって保護者にアナウンス出来るスケジュール間で組むようにする。
3	・「満足度」⑯~⑳の項目に対し、保護者より概ね「はい」の回答が多かった。安心感を持ち、通所を楽しみにして頂いていることが強みといえる。	・利用児童の主体性を重視した1日のスケジュールを組むようにしている。おやつ、集団活動、公園か室内遊び等、ものごとに対して選択を伝え意思決定が出来る環境を提供している。従事者も同様に、自発性を重視した上で選択肢を提供している。	・非常勤職員、常勤職員の情報の共有をノートを使い実施しているが、タブレットを使い電子化もはかっていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・「環境・体制整備」①~③に対し、保護者より概ね「はい」の回答があるが、現状バリアフリー化はされておらず玄関から教室にあがる手前に大きな段差がある。 ・災害に避難するためのスローダンがあるが、実際児童を乗せて降りることが出来るのか、実践をしたことがない。	・トイレの個室の広さも十分といえず、掴まるための棒などはない。 ・水道の蛇口も低学年は手が届かないことが多いので、足場となる台を置くようにしている。	・避難訓練など、実践を通じた訓練が少ない。 また、避難道具の使い方も職員が網羅していないと実際に動くことは難しいと考えるため、実践訓練を年間スケジュールに組む。
2	・「適切な支援の提供」⑭放課後児童クラブとの交流や、地域の他の子供と活動する機会に対し「どちらともいえない」との回答が保護者・従事者とも多かった。	・交流を主とした活動は取り入れていません。保護者の方も求めている方もおり、判断が難しいところでもあと考えます。	・金沢文庫教室と月1合同で活動内容を考案している。 同法人同士ですと、連携も取りやすく子供の情報共有も行きやすい面がある。
3			